

外部講師を招いて 『医学の基礎知識』を学びました。

「医学の基礎知識」と題して、稲沢厚生病院の看護部長である牧田久仁子様を招いて、3年生福祉サービス系列7名の生徒を対象に講義を行っていただきました。

牧田看護部長は看護師の視点から高齢者を支えるためにはどうすればよいのか、ということ丁寧な講義されました。話の冒頭には健康寿命及び平均寿命は日本が一番長く、それに伴ってこれから介護職の人材がたくさん必要になってくることを説明され、介護を学んでいる人たちが貴重であるということをお話しされました。また、高齢者への心理的援助として、「ありのままに尊重し、認め、受け入れること」が大切であることを話され、受容と共感が大切であることを学ぶことが出来ました。今回の講義を生かし、さらに介護の知識を増やしていきたいと思えます。

